

＜専任教員報告＞

2017年度教員活動報告

吉田文彦 教授（副センター長）

I. 教育

- クロスアポイントメント制度により、国際基督教大学（ICU）客員教授を兼務。三学期制をとる ICU では、春学期に「メディア研究入門」、秋学期に「平和研究」、冬学期に「公共政策特別研究」を担当。

II. 研究

(1) 主要研究テーマ

- 核軍縮政策
- 核不拡散政策
- 核戦略と安全保障

(2) 著書・論文・学会誌寄稿など

- 「核リスクを見詰めなおせ——悪魔の論理に潜む不確実性」、長崎新聞（共同配信）、2017年4月1日
- 「ザ・核軍縮サミット——米ソのレイキャビク首脳会談を検証する 第4回」『世界』岩波書店、2017年4月号
- 「ザ・核軍縮サミット——米ソのレイキャビク首脳会談を検証する 第5回」『世界』岩波書店、2017年6月号
- 「ザ・核軍縮サミット——米ソのレイキャビク首脳会談を検証する 最終回」『世界』岩波書店、2017年8月号
- 「核兵器国から見た核兵器禁止条約」、『核兵器禁止条約採択の意義と課題 レクナ ポリシーペーパー：REC-PP-06』2017年8月
- 「核兵器をめぐる世界情勢と日本—核兵器禁止条約と核の近代化」月刊保団連8月号
- ウェブコラム「吉田文彦の地球360度」に「核戦争で起こりうる『飢餓』」、2017年8月4日
- 「非核世界への挑戦 なぜ『廃絶』に近づけないのか」、朝日新聞読書面「ひもとく」欄、2017年11月19日
- Fumihiko Yoshida “UN on Nuclear Disarmament and the Ban Treaty: An Interview with Izumi Nakamitsu”, Journal for Peace and Nuclear Disarmament, 20 Feb 2018

(<https://doi.org/10.1080/25751654.2018.1436385>)

- 「核抑止過剰依存とそのリスク認識」、『核の脅威にどう対処すべきか』鈴木達次郎、広瀬訓、藤原帰一編、法律文化社、2017年3月

(3) 学会活動

(4) その他

2017年

- 11月23日 東京大学で開催したシンポジウム「核の脅威にどう対処すべきか」(RECNA主催)でのシンポジウムでコーディネーター。
- 7月29日 国際平和シンポジウム「核兵器廃絶への道」(広島市共催、長崎市後援)のコーディネーター。

2018年

- 2月27日 RECNAとカーネギー国際平和財団共催のシンポジウム「北東アジアの核リスク」(於:ワシントンDC)にパネリストで参加。

III 地域貢献

(1) 地域活動

2017年

- 4月20日 長崎で開催された九州地区図書館協議会総会で、「歴史を学ぶ楽しさ」をテーマに講演。
- 4月25日 長崎で開催された「国際赤十字・赤新月運動核兵器禁止及び廃絶に係る会議」(国際赤十字・赤新月社主催)にて、「Mission Possible」と題して講演(英語)。
- 5月27日 2017年度の第一回核兵器廃絶市民講座にて、「トランプ政権の核政策と日本」を主要なテーマに講演、討論、質疑応答
- 5月30日 ジョージタウン大学カタール校の学生とナガサキユース代表団の対話のコーディネーター。
- 7月8日 立命館アジア太平洋大学とナガサキユース代表団の対話のコーディネーター。
- 7月19日 横浜で開催された「核兵器をめぐる世界の動向とヒバクシャ国際署名——講演と交流のつどい」(ヒバクシャ国際署名生協推進委員会主催)にて、「核兵器禁止条約と核兵器廃絶をめぐる情勢」をテーマに講演。
- 8月8日 中満泉・国連事務次長(軍縮担当)を招いてのRECNAラウンドテーブルのコーディネーター。
- 8月9日 長崎文化放送の平和祈念式典の中継放送の解説者として出演。
- 9月4日 東京のフォーリンプレスセンターにて、J-PAND (Journal for Peace

and Nuclear Disarmament)発行の契約成立に関する記者会見。

- 9月9日 中央大学学生とナガサキユース代表団の対話のコーディネーター。
- 11月13日 長崎市原爆資料館運営委員会に委員として出席。
- 12月6日 東京のフォーリンプレスセンターにて、J-PAND (Journal for Peace and Nuclear Disarmament)創刊に関する記者会見。

2018年

- 2月19日～20日 第二回長崎県平和学生会議にて講演と意見交換。
- 3月17日～18日 RECNA と広島平和研究所共催の国際シンポジウム「アジアの核・ガバナンス・平和」の第1セッション「核の現状と課題」にて討論者として参加。
- 3月19日 RECNA とカーネギー国際平和財団共催のシンポジウム「北東アジアの核リスク」(於：ワシントン DC) に関して RECNA にて記者会見

(2) 外部委員

- 長崎市原爆資料館運営委員会委員